

危険を感じたら

「赤いボタンを押してください」

「えっ、どっち?!…」



CUD(カラーユニバーサルデザイン)を知っていますか?

日本人の男性の5%、女性の1%、人口では320万人が色弱者といわれています。

その人達は色があふれる社会の中で、学校の授業、重要な広報情報や危険なサインが伝わらないなど、色のバリアで不便な生活をいられています。

しかし正しく色弱者の色の見え方を知って色の工夫をすれば、色のバリアを取り除くことができます。私達はカラーユニバーサルデザイン(CUD)を広く知ってもらうことにより、色のバリアを無くしたいと思っています。

色弱者の方も一般色覚者の方もこのセミナーに参加していただき、どうすれば色のバリアを取り除くことができるかを考えましょう。

色弱者にはボタンの色の違いがこのように見えています。



P型色覚特性の人



D型色覚特性の人

この画像は複数の「色の見分けにくい」を模擬的に再現したものです。決して他人が「見えている色」を再現するものではありません。

第7回

カラーユニバーサルデザイン勉強会

- と き 2014年1月18日(土)
13:30~15:30
- ところ キョーエイ鳴門駅前店 4階大ホール
- 参加料 無料
- 講師 伊賀 公一氏
NPO法人CUDO(カラーユニバーサルデザイン機構) 副理事長

セミナー内容

- CUDを知っている人
「カラーユニバーサルデザイン」を社会に進めていくためにはどのような広報物作製すればいいか、色覚シミュレーターなどを使いながら考えましょう。
- CUDを知らない人
初めて参加される方には、どのように色の見え方が違うのかを色覚シミュレーターで具体的に体験してCUDを理解しましょう。

◆お問い合わせは/CUDをすすめる会 友枝まで Tel:090-8973-8581